

アスベストってなに？

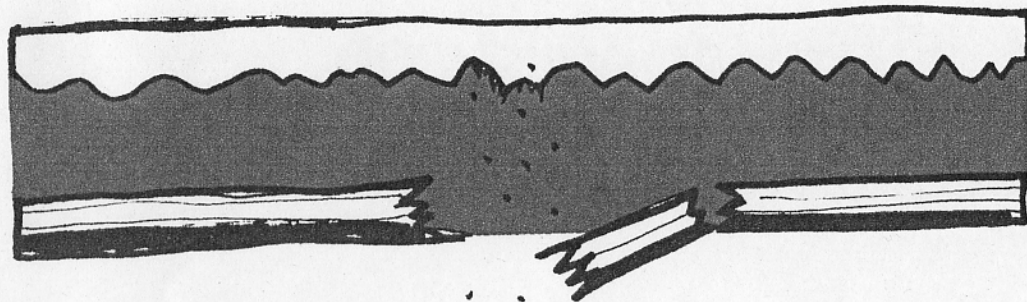
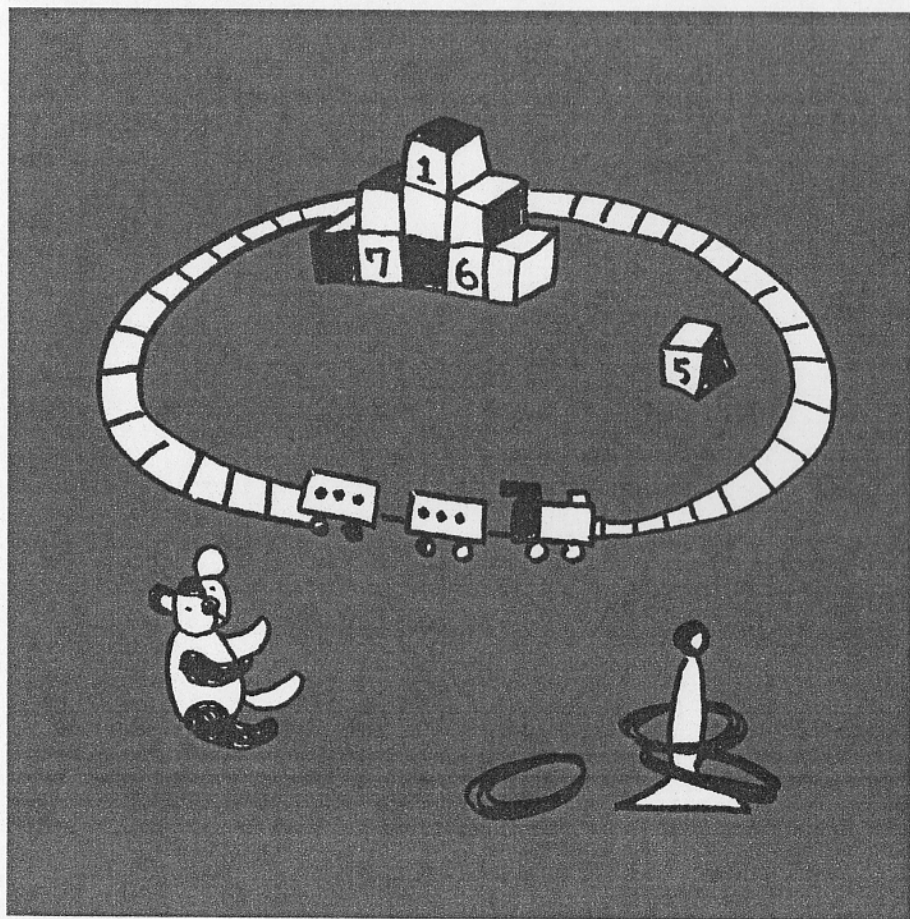


発行：文京区男女協働子育て支援部保育課

監修：さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会

1999年にさしがや保育園で起きた出来事を
未来のために知っておこう考えておこう

この本は、あなたが保育園にかよっていたときに
実際に起こったことをまとめています。
知らないでいることも、心配しすぎることもよくないので
本当のことを知って、これからどうしたらよいかを知ってもらい、
お父さんお母さんと一緒に考えてほしいという想いで書かれました。

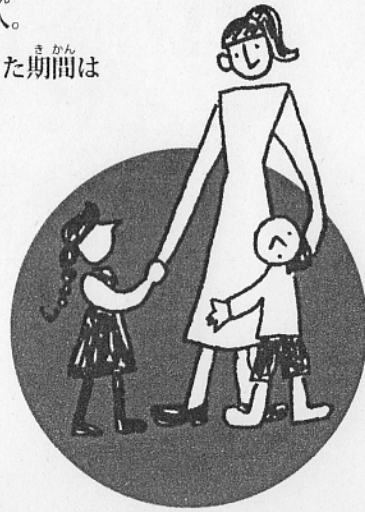
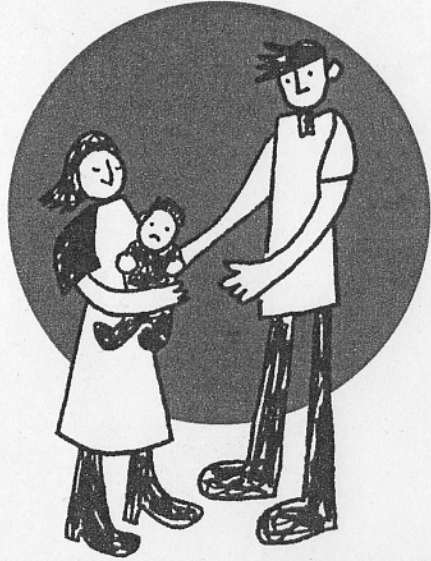


1999年7月のことでした。
0歳児クラスのお部屋を大きくするための
工事の最中でした。
工事する場所は一部分だったので、
そのときあなたは保育園に居ました。



天井をはずしたときに
たくさんのほこりが出ました。
そのほこりの中にアスベストという物質が
含まれていたことがあとでわかりました。
最初に気づいたのはあるお母さんでした。
何度も文京区の工事の係の人に言って、
ようやく工事を止めて調べてみて
わかったことなのです。

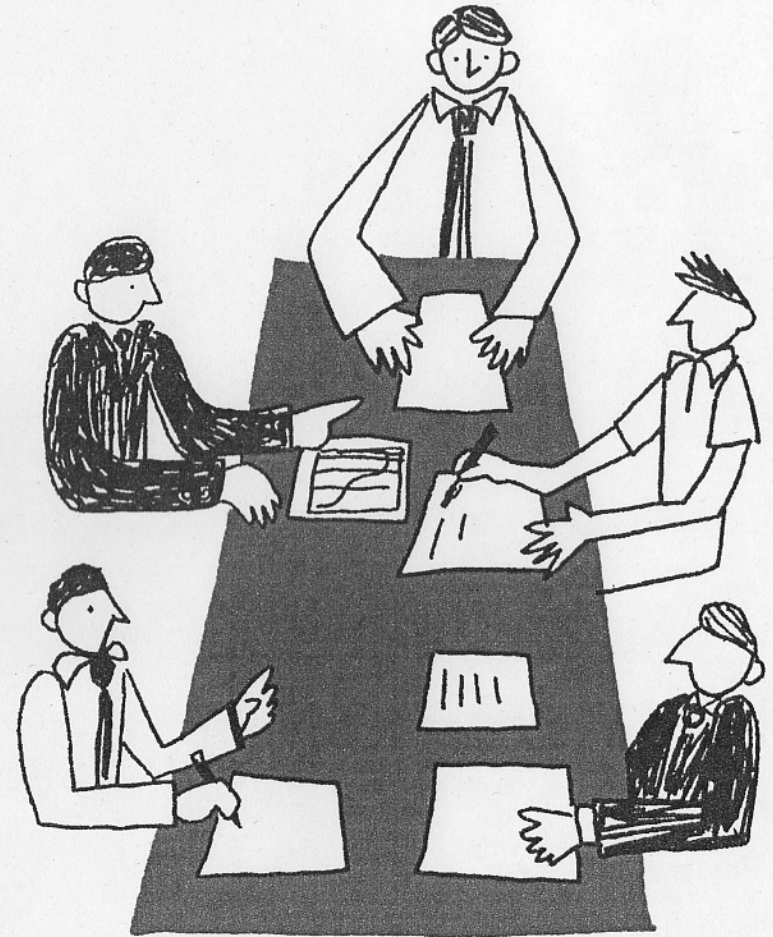
そのとき保育園に通っていた子どもの数は108人。
 飛び散ったほこりの中にアスベストが混じっていた期間は
 7日間続きました。



アスベストという物質は
 吸い込むと長い年月がたってから
 病気になる可能性があることが知られています。
 お父さんお母さんやまわりのおとなたちは、
 将来子どもたちにどんな影響が出るのか
 とても心配しました。



文京区は防げなかった責任をとるために
 きちんと防げなかった責任をとるために
 これからどんな対応をしなければいけないか、
 アスベストのことに詳しい専門家の人たちに
 集まってもらって話し合う場をつくりました。
 「アスベスト健康対策等検討委員会」という名前の会議でした。



話し合いはとてもたいへんでした。

わからないことが多いから、きちんと調べるのに時間がかかったのです。

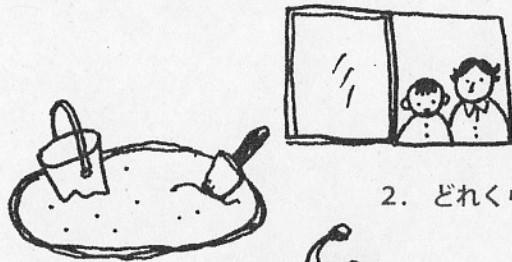
4年間かけて、

「さしがや保育園アスベストばく露による健康対策等検討委員会報告書」を

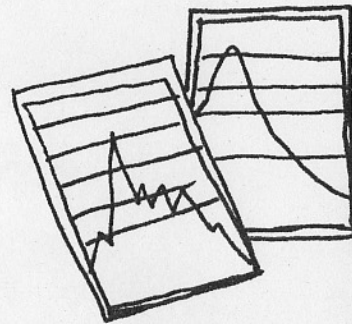
つくりあげました。むずかしい名前ですがとても重要なものです。

この報告書には次のことが書かれています。

1. さしがや保育園でのアスベストばく露*がわかったときの出来事



2. どれくらいの量を吸った可能性があるか



3. 将来の健康にどんな影響が考えられるか



4. 文京区がどんな対策をしなければならないのか

*「アスベストばく露」とは、アスベストが飛び散っている部屋や場所に入っている人間がいて被害を受けたことを言います。

アスベスト吸^すったことがわかっていても、

影響が出てくるのは長い時間がたってからです。

何か手をうつことは難しいと考えられてきました。

このような事故について、専門家の意見をまとめて対策を提案したのは

日本ではじめてのことでした。



つぎ じつこう
次は実行です。

みんなの健康を守るために実際に何をしていくか決めることになりました。

そのために専門家に加わってもらって、

健康対策について具体的に話し合う委員会を新しくつくりました。

名前を「さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会」といいます。

せんもん いんかい
専門委員会では次のことなどについて話し合っ決めていきます。



健康対策が受けられることを
証明する手帳を発行する。

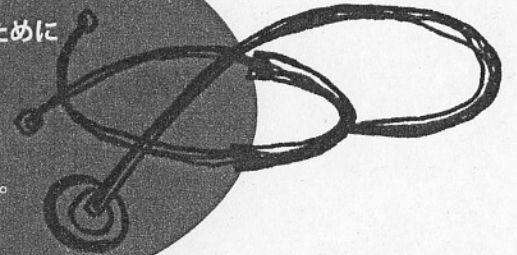
しんぱい
心配な
ことのある人の
相談にのる。

まん いちびょうき
万が一病気が起こって
しまったときに、
アスベストとの関係を調べる
そのための話し合いや
研究をしていく。

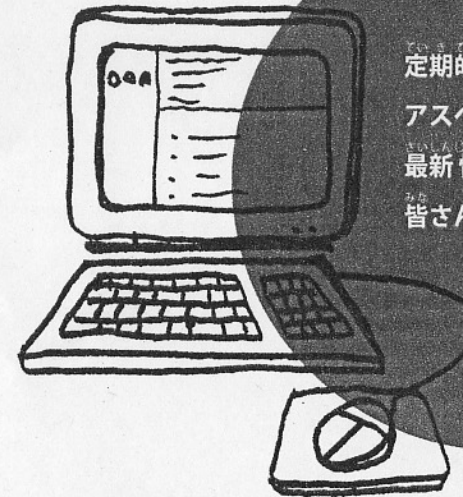


この委員会は実際に被害を受けた人の意見を大切に考えているので
お父さんお母さんの中からも2名が参加しています。
いずれみなさん自身が、自分たちの健康を守るために
参加して行くことになります

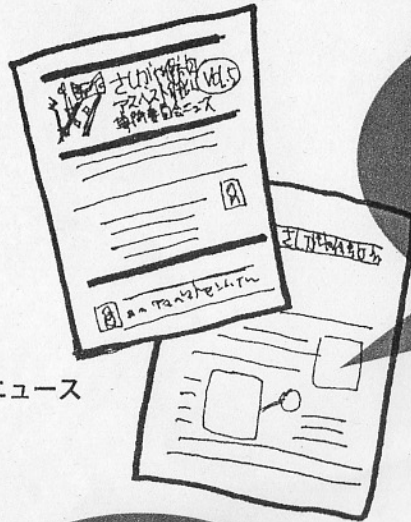
びょうき を引き起こさないために
何をするか考えたり
定期的な健康診断の
計画を考えたりしていく。



定期的に委員会を開き
アスベストに関する
最新情報の収集をして
皆さんにお知らせしていく。



すでに皆さんのために発行されているものがあります。



ニュース

委員会で話されたことや疑問に答えたQ & Aなどが載っています。各家庭に送られています。文京区のホームページからも検索できます。



協定書

手帳は希望者に発行されますが文京区に言えばいつでも発行してもらえます。



手帳

2007年には文京区とばく露した人との間での将来にわたっての約束が書かれた協定書というものが交わされました。協定書は希望者と交わされていますが文京区に言えばいつでも発行されます。

こうして大人たちはみなさんの将来の健康を守るために長い年月の対策ということを考え続けていくことになりました。

では、皆さん自身はこれからどうすればいいか一緒に考えましょう。

いちばんいい方法は何でしょうか？
起こった事実を忘れることでしょうか？

ちがいます。



アスベストは、みなさんが吸ったくらいの量では簡単に病気が起こるとは考えにくいと専門家の先生は言います。

でも、まったく起こらないともいいきれません。

知らないうちに悪い結果を招くことがいちばん怖いのです。



だから、アスベストのことを正しく知ってどんなことに気をつければいいかはっきりさせておくのがいちばんの道なのです。

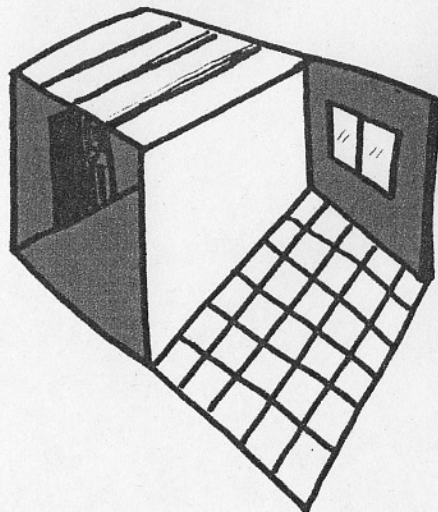
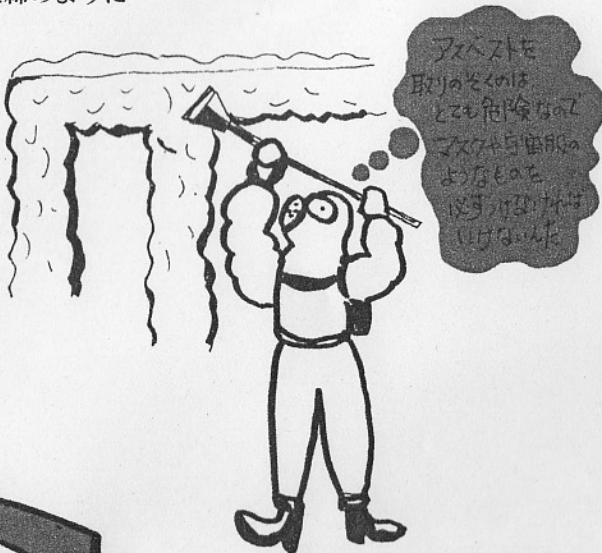
アスベストってどんなもの？

「人体にとって危険な物質」

アスベストは「石綿（せきめん、いしわた）」とよばれる天然の鉱物繊維です。

火事などの熱に強いので、かつて日本ではビルなどの鉄骨部分に吹き付けられていました。

はがれてくるとふわふわした綿のように見えるものです。



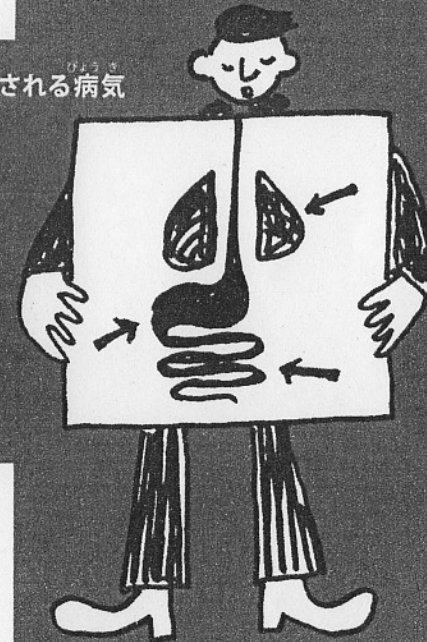
アスベスト含有建材（がんゆうけんざい）といって建物の壁や天井の板の中に混ぜられているものもあります。
板状（いたじょう）のものは安全（あんぜん）ですが壊れたり解体（かいたい）したりするとそこから繊維（せんい）が出て危険（きけん）です

「どんな病気になるの？」

細い繊維（ほそせんい）が肺（はい）の中に入ると、20～40年くらいたってから、中皮腫（ちゆうひしゅ）や肺がんなどの病気（びょうき）になる可能性があります。個人差（こじんさ）があるので、どのくらいの量（りょう）をどのくらいの期間（きかん）吸（す）ったら、病気（びょうき）になるのかは、はっきりわかっていないわけではありません。

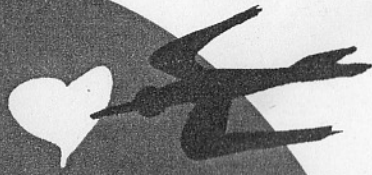
アスベストが原因（げんいん）とされる病気（びょうき）

- ・中皮腫（ちゆうひしゅ）
- ・肺がん（はいがん）
- ・アスベスト肺（あすべすとはい）
- ・胸膜肥厚斑（きょうまくひこうはん）
- ・胸膜炎（きょうまくえん）



肺（はい）にかかわる病気（びょうき）が多いです。

どうすればいいの？

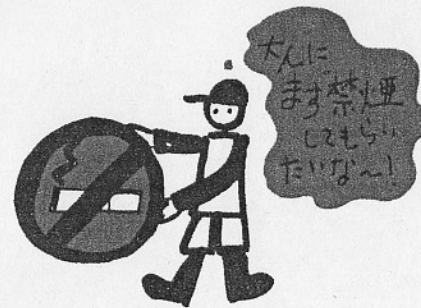


これ以上リスク(危険度)を増やさないことです
まず、これ以上アスベストを吸わない！

アスベストは私たちの身の回りにあふれています。
すでに吸ってしまった以上に、重ねてアスベストを吸ってしま
うと病気になる可能性がもっと高まります。
ですから、アスベストがあるところ、ありそうなところにはな
るべく近づかないようにすることが大切です。
アスベストは人のからだにとって危険であることがわかったの
で、2004年以降使うことは禁止されていますがすでに建っ
ている建物には、アスベストがある場合があります。燃えにくい
特徴があるので、火事を防止するためや防音のためにかつて鉄
筋や鉄骨の建物に多く使われました。

その① タバコを吸わない！

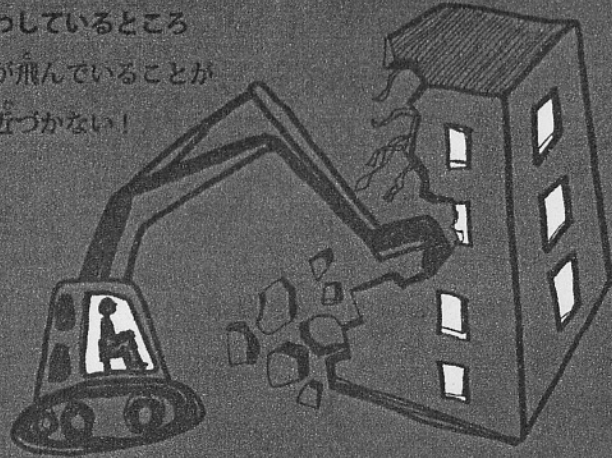
アスベスト+タバコでガンになる確率が
なんと！50倍になります。タバコの怖さを知ろう
友だちに勧められても興味本位で吸わない。
家族も吸わない協力をしましょう。飲食店では禁煙席へ。



その② こんなところには近づかない、長い時間いない

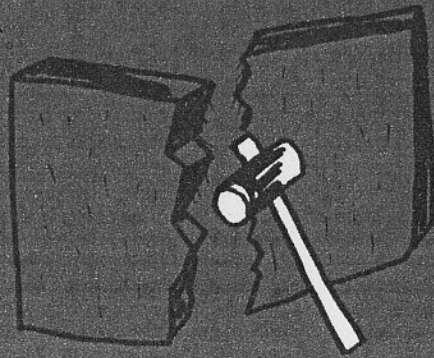
●建物をこわしているところ

アスベストが飛んでいることがあるので、近づかない!



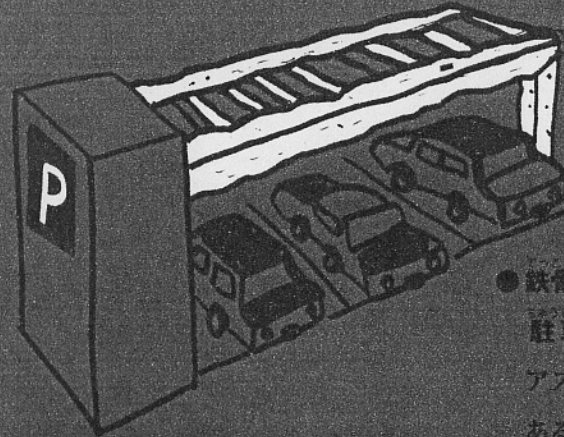
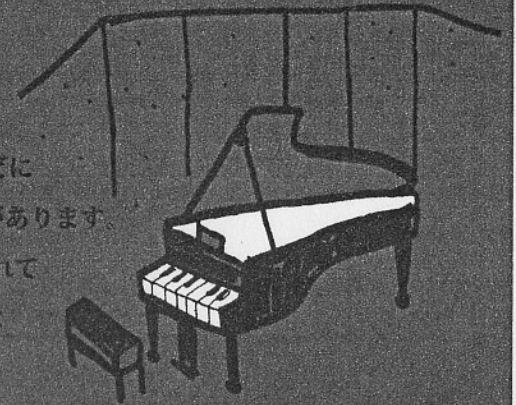
●こわれている天井や壁の板

アスベストは吹き付けのほかに、建材に含まれているものもあります。通常は問題ありませんが、こわすときに乱暴に破ると飛び散る危険性があります。



●鉄筋・鉄骨の建物

防音・防湿のために廊下の天井などにアスベストが吹き付けてあることがあります。リフォームなどで天井板がはがされて鉄骨がむき出しになっているときは要注意。



●鉄骨がむき出しになっている
駐車場・駐輪場・倉庫など
アスベストが吹き付けて
あることがあるので注意。

その③ 住みながらのリフォーム・工事はさげよう！

天井板をはがしたとき、マンションなど鉄骨に吹き付けてある
アスベストが飛び散る可能性があります。

また、アスベストが含まれている天井板や床材などを割ると、
飛び散る可能性があります。

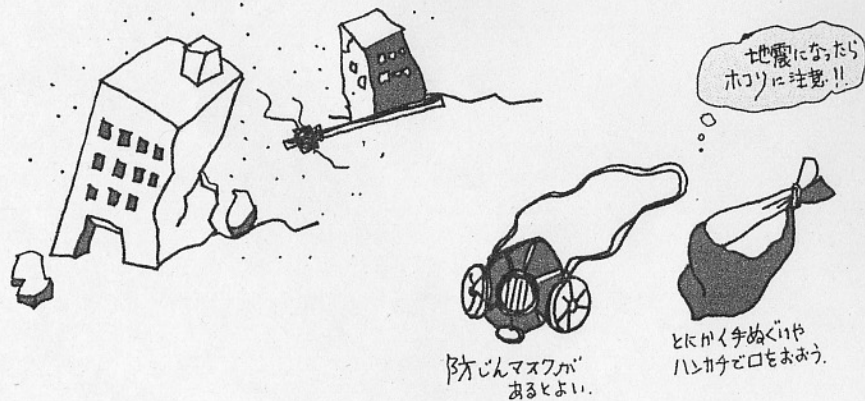
住みながらのリフォーム工事は
しないことです。



その④ 地震が起きたら要注意！

崩れかけている建物に近づかない。アスベストが飛び散る可能性があります。

どうしても片付けの作業をしなければならないときは、
アスベストを防ぐマスク（防塵マスク）を着用しましょう。



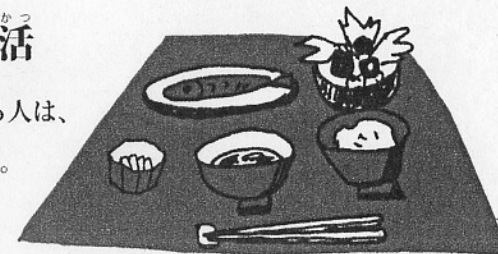
こんなことに気をつければあなたの
リスク（危険度）は減らせます

その⑤ バランスのよい食生活

研究では、バランスのよい食事をしている人は、
ガンになりにくいという結果が出ています。

脂肪はひかえめ、偏食を避け
バラエティに富んだ食事を。

抗酸化物質はガンになりにくい体質づくりによいと言われています。
代表的な食品は、色の濃い野菜やくだものです。



その⑥ ほどよい運動をしよう。

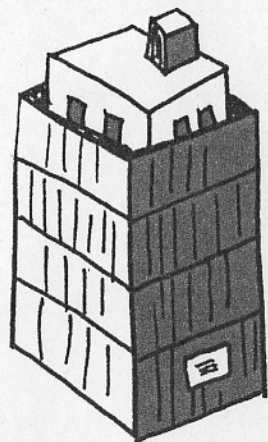
適度な運動は免疫機能*の強化に役立つと
考えられています。



*免疫機能とは、外からからだに悪いものが入ってきたときに戦って追い出す力のことです。
人間が本来持っているからだのしくみです。

意識して暮らすと、これだけ変わる

1人ではむずかしいことはお家の人と一緒に考えて行動しよう



- 疑問があったら、まずたしかめよう！
「近所のマンションが建て替えられるけど、アスベストは大丈夫？」と思ったら、まず区役所の環境対策課に聞いてみましょう。アスベストがある場合は届出があるはずですが、届出が出てないときは、現場を見に来てもらいましょう。

● 学校に入学するときは確認しよう

学校は長い時間を過ごす場所。安心して過ごすために

アスベストがないか確認しましょう。

進学希望先の学校の校舎にアスベストが存在しないかは図面で確認できます。

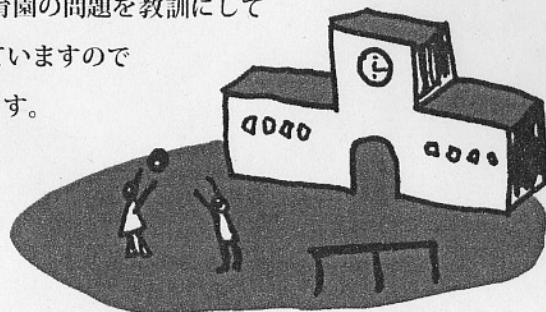
見方がわからないとき、聞いてもよくわからなかったときは、専門委員会やアス

ベストセンターに問い合わせましょう。

文京区立の学校はさしがや保育園の問題を教訓にして

アスベストの調査と対策をしていますので

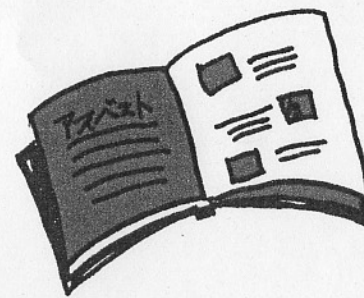
詳しい説明をすぐにしてくれます。



● 調べてみよう

本をよんだり、詳しい専門家に話を聞いたりして、アスベストについて少しでも正しい知識を持ちましょう。

人のうわさや間違った知識で不安になるのがいちばんいけません。



詳しく載っているホームページ

- 文京区ホームページ保育課の情報欄に詳しく載っています

HP アドレス http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_hoiku

- アスベストセンター

HP アドレス <http://www.asbestos-center.jp/>

建物のアスベストに関する文京区の窓口はここです。
気軽に聞いてみてください。

- 文京区のビルの取り壊しについての情報は
環境対策課 TEL 03-5803-1260

- 学校などの公共施設についての情報は
施設管理課 TEL 03-5803-1269

もしほかの区やほかの県に引っ越して相談する場所がわからないときや相談してもよく説明してもらえなかったときは文京区保育課がアスベストセンターに相談しよう。

すこ しばい
少しでも心配なときは

せんもん いんかい そうだん
まず専門委員会に相談しよう !!

せんもん いんかい じょうず かつよう
専門委員会を上手に活用しよう

せんもん いんかい せんせい は、さしがや保育園でのアスベストばく露のことを理解して
いて、アスベストについての最新の研究情報も持っています。
くたいてき しんたい くあひ わる せんり せん
具体的に身体の具合が悪くなくても、なんとなく気がかりというときも心理の専
門の先生が対応して下さいます。
いんかい そうだん ひよう
委員会への相談に費用はかかりません。

そうだんまどぐち 相談窓口

その1 ぶんきょうく だんじよきょうどう こそだ しえんぶ ほいくか 文京区男女協働子育て支援部保育課

そうだん ないよう せんもん いんかい せんせい しょうかい
相談したい内容によって専門委員の先生を紹介してくれます。

TEL 03-5803-1189

e-mail: b311500@city.bunkyo.lg.jp

その2 アスベストセンター

せんもん いんかい せんせい ふたり
専門委員会の先生が 2 人います。

びようき ひと そうだん みんかんだんたい
アスベストにかかわる病気の人の相談にのる民間団体です。

ぜんこくかくち あすべすと ひがい ちようさけんきゆう きゅうさい とく
全国各地のアスベスト被害の調査研究・救済に取り組んでいます。

TEL 03-5627-6007

委員会に今までかかわった方々

「さしがや保育園アスベスト健康対策等検討委員会」委員

(敬称略・肩書きは報告書策定時のもの)

委員長：内山 巖雄 (京都大学大学院工学研究科教授)

委員：入江 建久 (新潟医療福祉大学医療技術学部教授) / 神山 宣彦 (独立行政法人産業医学総合研究所作業環境計測研究部長) / 安達 修一 (相模女子大学学芸学部助教授) / 三浦 博太郎 (横須賀共済病院内科 (呼吸器科) 部長) / 小西 淑人 (社団法人日本作業環境測定協会調査研究部長) / 松平 隆光 (松平小児科医師) / 濱島 閔郎 (浜島医院医師) / 永倉 冬史 (アスベスト根絶ネットワーク代表) / 名取 雄司 (ひらの亀戸ひまわり診療所医師) / 古谷 杉郎 (全国労働安全衛生センター連絡会議事務局長・石綿対策全国連絡会議事務局長)

第1期「さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会」委員

(敬称略)

委員長：内山 巖雄 (京都大学大学院工学研究科教授)

委員：安達 修一 (相模女子大学学芸学部教授) / 神山 宣彦 (東洋大学経済学部教授) / 名取 雄司 (ひらの亀戸ひまわり診療所医師) / 三浦 博太郎 (横須賀市立うわまち病院副院長) / 松平 隆光 (松平小児科医師) / 倉根 修二 (文京クリニック院長) / 前田 峰子 (神奈川臨床心理学研究協会会長) / 永倉 冬史 (中皮腫・じん肺・アスベストセンター事務局長) / 今井 桂子 (保護者代表) / 森 英記 (保護者代表)

